

《記載例》

農地の一時転用に係る農地復元計画書兼原形復旧誓約書

東広島市農業委員会会長 様

申請人 住所 東広島市〇〇町 12△△番地
(土地所有者) 氏名 刈谷 耕作 印

申請人 住所 東広島市〇〇町 34△△番地
(施工者) 氏名 ○△□株式会社
代表取締役 農地 守 印

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで提出の農地法第条第項第号の規定による農地転用につき、期間終了後、次のとおり農地に復元いたします。

なお、一時転用期間満了までに原形復旧させて原形復旧報告書を提出することを誓約します。

1 一時転用農地の表示

土地の所在	地番	地積	登記地目	現況地目	備考
〇〇町字△△	×××番地	1,000 m ²	田	田	

2 転用目的及び転用内容等

〇〇会社仮設工事事務所及び駐車場

3 工期及び復元実施期間

工期：令和 〇〇 年 4月 1日～令和 〇〇 年 12 月 31 日

(うち復元実施期間：令和〇〇年11月15日～令和〇〇年12月31日)

4 復元の方法

- ① 整地は申請地の南側道路高とし、道路から 30 cm以内の高さとする
- ② 掘削行為により土量が減少し、跡地埋め戻しの規準地地盤高が①の規準より低下する場合は、〇〇から購入する山土をもって補充基礎整地を行う
- ③ 表土は申請地において行う④に掲げる剥土作業により得られた作土で充当する
- ④ 剥土は、地表より 1mを別に温存し、これをもって当該農地の表土とする
- ⑤ 埋め戻しは山土等の良質土を使用し、建設廃材、網下土砂当の廃棄物は混入しない

5 農地復元施工者

東広島市〇〇町 56△△番地 ××株式会社 代表取締役 畑 耕治

6 農地復元の経費負担者及び工事費用の額

**東広島市〇〇町 34△△番地 ○△□株式会社 代表取締役 農地 守
復元費用 200 千円(総事業費 1,000 千円の内)**

7 土地所有者への引渡し（農地法第4条による許可のときは記入不要）

(1) 引渡し予定日（転用許可期限内に含む）

令和〇〇年 **12** 月 **31** 日

(2) 引渡し方法（具体的に記入）

土地所有者及び施工者の両者立会のもと、農地への復元を確認し引き渡す

8 その他（この申請前に、一時転用許可を受けている場合は、その進捗状況を記入（許可年月日、許可番号、許可目的、許可期限、許可地、申請時点での状況及び既に完了している場合は、事業完了報告書の提出年月日）のこと）

許可年月日：令和〇〇年〇〇月〇〇日

許可番号：指令東広農委第〇〇〇号

許可目的：資材置場

許可期限：令和〇〇年〇〇月〇〇日

許可地：**〇〇町字××78△△番地**

申請時時点での状況：令和〇〇年〇〇月〇〇日事業完了報告書提出